

ALSOプロバイダーコース in 弘前総合医療センター



ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を身につけ、発展・維持するための教育コースです。1991年に考案され、1993年に米国家産科学会 (AAFP) によって認可され、現在、全米のほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することが義務付けられています。また、ALSOコースは世界的に普及活動が行われており、2009年までに50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しています。日本では2008年に金沢大学の周産期医療専門医養成支援プログラムグループが、米国家産科学会 (AAFP) から日本でのALSOセミナー運営権を取得し、2008年よりプロバイダーコース、インストラクターコースを開催しております。

ALSOコースは、実地訓練のためのマネキンとシミュレーターを使用したワークショップ、コース終了時に行われる筆記試験、マネキンによる実技試験 (メガデリバリー) から構成されています。ALSOコースの内容は補助経膈分娩、肩甲難産、分娩後異常出血、妊婦蘇生など様々な状況における産科救急の対処法を中心としていますが、出産前のリスク評価、妊娠初期・中期・後期の性器出血、妊娠合併症、出産危機における両親のサポートなど、マタニティケアに必要な要素がすべて含まれています。プロバイダーコースを完了し、試験に合格すれば3年間有効の認証を受ける事が出来ます。

主催：弘前総合医療センター

共催：NPO法人周産期医療支援機構

協賛：青森県医師会

日程：(1) e-ラーニング講習：登録後受講可能、視聴後テストあり
(2) 会場演習：2026年3月7日 (土)、8日 (日)

会場：弘前総合医療センター

036-8545 青森県弘前市大字富野町1番地

電話：0172-32-4311 (代表)

定員：18名

受講料：30,000円 (認定料・教材費込み)

応募締切：2025年12月7日 (日)

* 東北、北海道の方を優先しますが、定員に達しない場合は、他の地域からも参加可能です。

* 不明な点は以下のメールアドレスにお問い合わせください。

mnk0704@hirosaki-u.ac.jp (担当 産婦人科 横山美奈子)



会場案内



【電車】

- ① JR奥羽本線弘前駅下車
- ② 弘南鉄道(大鰐～中央弘前間)にて弘高下駅下車 徒歩5分

【バス】

弘南バス(松原・小栗山線)にて弘前大学前下車 徒歩3分
※ 当院正面玄関経由の便が土日祝で9便あります

【自動車】

弘前バイパス・高田高架橋を潜り県道109号を直進
拡大図の信号左折しご来院ください

【その他ご案内】

弘前駅からタクシーご利用の場合、約8分